

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成23年12月～平成24年2月分)について

1. 平成23年12月分

(1) 問い合わせ件数

平成23年12月1日～平成23年12月28日 106件
(うち、放射性物質関連 51件)

(参考) 問合せ件数推移

H23年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H24年1月	2月
350	216	212	278	204	136	166	97	106	92	70

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	13 件	
委員会	4 件	
リスクコミュニケーション	9 件	HP掲載資料(6件) 等
② 食品健康影響評価関係	21 件	
評価全般	1 件	
化学物質系	3 件	食品添加物(1件)、農薬(1件)、ヒ素(1件)
生物系	0 件	
新食品	9 件	未承認 GMO 添加物(5件)、その他の遺伝子組換え(3件)、大豆イソフラボン(1件)
BSE	2 件	
その他	6 件	放射性物質(6件)
③ 食品一般(リスク管理等)関係	72 件	
化学物質系	8 件	食品添加物(4件) 等
生物系	0 件	
新食品	3 件	健康食品(2件) 等
プリオン	2 件	
衛生関係	15 件	衛生管理(12件)、規格基準(2件) 等
食品表示関係	4 件	
その他	40 件	放射性物質(40件) (暫定規制値、個別食品の安全性、検査等)
④ その他	0 件	

2. 平成24年1月分

(1) 問い合わせ件数

平成24年1月4日～平成24年1月31日 92件

(うち、放射性物質関連 45件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	21 件	
委員会	2 件	
リスクコミュニケーション	19 件	放射性物質対策説明会(10 件) 等
② 食品健康影響評価関係	9 件	
評価全般	0 件	
化学物質系	2 件	トランス脂肪酸(1 件)、DAG(1 件)
生物系	1 件	カビ毒(1 件)
新食品	3 件	未承認 GMO 添加物(3 件)
BSE	1 件	
その他	2 件	放射性物質(2 件)
③ 食品一般(リスク管理等)関係	58 件	
化学物質系	8 件	農薬(3 件)、食品添加物(2 件) 等
生物系	0 件	
新食品	4 件	遺伝子組換え食品(2 件)、特定保健用食品(2 件)
プリオン	1 件	
衛生関係	11 件	衛生管理(7 件)、異物混入(2 件) 等
食品表示関係	2 件	
その他	32 件	放射性物質(32 件)(新基準値の設定、個別食品の安全性、検査 等)
④ その他	4 件	

3. 平成24年2月分

(1) 問い合わせ件数

平成24年2月1日～平成24年2月29日 70件

(うち、放射性物質関連 24件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	13 件	
委員会	2 件	
リスクコミュニケーション	11 件	放射性物質対策説明会(5件)、HP(5件)等
② 食品健康影響評価関係	13 件	
評価全般	0 件	
化学物質系	9 件	トランス脂肪酸(2件)、農薬(2件)、食品添加物(1件)、メチル水銀(1件)、ヒ素(1件)等
生物系	0 件	
新食品	3 件	遺伝子組換え(2件)、大豆イソフラボン(1件)
BSE	0 件	
その他	1 件	放射性物質(1件)
③ 食品一般(リスク管理等)関係	42 件	
化学物質系	4 件	農薬(2件) 等
生物系	0 件	
新食品	1 件	
プリオン	1 件	
衛生関係	12 件	衛生管理(11件)、異物混入(1件)
食品表示関係	6 件	原料原産地表示(5件) 等
その他	18 件	放射性物質(18件)(新基準値の設定、個別食品の安全性、検査 等)
④ その他	2 件	

4. 問合せの多い質問等

Q トランス脂肪酸の食品健康影響評価が行われたと聞きました。概要を教えてください。

A :

トランス脂肪酸は、脂質の構成成分である脂肪酸の一種です。大きく分けて、工業的に加工した植物油等に由来するものと、牛などの反すう動物に由来し乳製品・肉に含まれるものがあります。

食品安全委員会では、食生活の変化により若年層の摂取量が増えていると考えられたことから、2010年3月に自ら食品健康影響評価を行うことを決定し、2012年3月に評価書を取りまとめました。

その評価書の概要は以下の通りです。

諸外国における研究結果によれば、トランス脂肪酸の過剰摂取は、冠動脈疾患を増加させる可能性が高いとされています。また、肥満やアレルギー疾患についても、関連が認められたものがあります。さらに、妊産婦・胎児への影響についても、関連が報告されています。

しかし、こうした研究結果は、トランス脂肪酸の摂取量が、平均的な日本人よりも相当多いケースの結果であり、平均的な日本人の摂取量においては、これらの疾患リスクとの関連があるかは明らかではありません。

世界保健機関(WHO)では、心血管系疾患のリスクを低減し、健康を増進するための目標^(※)として、トランス脂肪酸の摂取量を総エネルギー量の1%未満に抑えるよう提示しています。

(※) WHOの原文では「recommendation」。評価書では「勧告(目標)基準」と記載。

日本人の大多数は、WHOの目標を下回っており、通常の食生活では、健康への影響は小さいと考えられますが、脂質に偏った食事をしている人は、留意する必要があります。

トランス脂肪酸は、ヒトに不可欠なものではなく、できるだけ摂取を少なくすることが望まれますが、脂質自体は重要な栄養素であり、極端な制限は健康に悪影響を与えます。バランスの良い食事を心がけることが大切です。

食品事業者においては、食品中のトランス脂肪酸含有量は近年減少傾向にありますが、一部製品は高いものがみられることから、引き続きその低減に努める必要があります。

リスク管理機関(厚生労働省等)においては、今後とも日本人のトランス脂肪酸の摂取量について注視し、知見の収集や適切な情報提供が必要です。

(参考)

- 食品に含まれるトランス脂肪酸の食品健康影響評価の状況について（食品安全委員会）
http://www.fsc.go.jp/sonota/trans_fat/trans_fat.html
- 概要：「食品に含まれるトランス脂肪酸」評価書の概要（食品安全委員会）
http://www.fsc.go.jp/sonota/trans_fat/iinkai422_trans-sibosan_gaiyo.pdf
- Q&A：「食品に含まれるトランス脂肪酸」評価書に関するQ&A（食品安全委員会）
http://www.fsc.go.jp/sonota/trans_fat/iinkai422_trans-sibosan_qa.pdf
- 評価書：「食品に含まれるトランス脂肪酸の食品健康影響評価」（食品安全委員会）
http://www.fsc.go.jp/sonota/trans_fat/iinkai422_trans-sibosan_hyoka.pdf
- トランス脂肪酸に関する情報（農林水産省）
http://www.aff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans_fat/